

令和4年度 人権学習充実拠点校事業

# 人権学習実践事例集

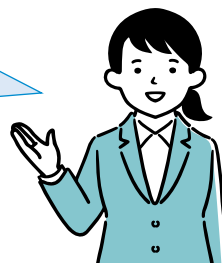


岡山県教育庁人権教育・生徒指導課

# 目 次

- はじめに..... 1
  
- 「やってみたい」と心が動き、夢中になって遊ぶ幼児をめざして..... 2  
～保育記録を通して環境構成や教師の援助を探る～  
**自尊感情の育成** (年少・年中・年長)  
津山市立つやま西幼稚園
  
- 自分のいいところ..... 8  
**子ども** (第2学年 特別の教科 道徳)  
勝央町立勝央北小学校
  
- わたしたちの学級や学校..... 10  
**子ども** (第4学年 特別の教科 道徳)  
勝央町立勝央北小学校
  
- 広く受け入れる心..... 12  
**子ども** (第6学年 特別の教科 道徳)  
勝央町立勝央北小学校
  
- 男女のらしさ..... 15  
**性的マイノリティ** (第1学年 学級活動)  
井原市立木之子中学校
  
- 上手な伝え方..... 18  
**子ども** (第2学年 学級活動)  
井原市立木之子中学校
  
- 北朝鮮当局による拉致問題から人権問題を考える..... 21  
**北朝鮮当局による拉致問題等** (第1・3学年 ロングホームルーム)  
岡山県立水島工業高等学校
  
- 高齢者や障害のある人が運転しやすい自動車を考える..... 24  
**高齢者、障害のある人** (第3学年 自動車工学)  
岡山県立水島工業高等学校

掲載されている事例の人権教育の視点は、各教科、特別活動及び総合的な学習(探究)の時間や教科外活動等でも取り入れることができます。



# はじめに

この事例集は令和4年度に拠点校で公開された人権学習の授業をまとめたものです。各校において本事例集を参考にいただき、日々の人権教育の取組に生かしていただきたいと思ひます。

下の図は、「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」(文部科学省)で人権教育を通じて育てたい資質・能力を示したものです。本事例集の「人権教育の視点から特に重要なこと…★」は、図中の「知識的側面」、「価値的・態度的側面」、「技能的側面」の3側面を踏まえています。

## 参考

### 人権教育を通じて育てたい資質・能力 自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動



自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度

(以下の「人権に関する知的理解」と「人権感覚」とが結合するときに生じる)

人権に関する知的理解

(以下の知識的側面の能動的学習で深化される)

人権感覚

(以下の価値的・態度的側面と技能的側面の学習で高められる)

関連

#### 知識的側面

- 自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存性、連帯性等の概念への理解
- 人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識
- 憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条約や法令等に関する知識
- 自尊感情・自己開示・偏見など、人権課題の解決に必要な概念に関する知識
- 人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識 等

#### 価値的・態度的側面

- 人間の尊厳、自己価値及び他者の価値を感知する感覚
- 自己についての肯定的態度
- 自他の価値を尊重しようとする意欲や態度
- 多様性に対する開かれた心と肯定的評価
- 正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度
- 人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度
- 人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志や態度
- 社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度 等

#### 技能的側面

- 人間の尊厳の平等性を踏まえ、互いの相違を認め、受容できるための諸技能
- 他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性
- 能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能
- 他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能
- 人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能
- 対立的問題を非暴力的で、双方にとってプラスとなるように解決する技能
- 複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能 等

関連

関連

関連

全ての関係者の人権が尊重されている教育の場としての学校・学級  
(人権教育の成立基盤としての教育・学習環境)

「やってみたい」と心が動き、  
夢中になって遊ぶ幼児をめざして  
～保育記録を通して環境構成や教師の援助を探る～



津山市立つやま西幼稚園

## 【3歳児(年少)】

### 1 教師の願い

○教師や友達と同じ物を持ったり身に付けたり、同じ場所で過ごしたりしながら、一緒に過ごす嬉しさを感じ、したい遊びを十分に楽しんでほしい。

○教師や友達と一緒に過ごす中で自分の思いを少しずつ態度や言葉で表現するようになってほしい。

### 2 ねらいと内容 (○ねらい・内容)

○自分なりに思ったことや感じたことを表現しながら、友達と同じ場で遊ぶ嬉しさを感じる。

・教師や友達と同じ場所で遊んだり、同じ物を作ったりする。

・同年齢や異年齢の友達と一緒に体を動かして遊ぶ。

・ドングリやマツボックリ等、秋の自然物を見たり触れたりして遊ぶ。

### 3 評価の観点


教師や友達と同じ場所や同じ遊びをしながら自分の思いを表現することができたか。

### 4 本日の保育と人権教育

幼児が自分なりに言葉で伝えたり、動きで表したりする姿を認め、幼児の思いに共感することで、教師との信頼関係を基盤に安心感をもって自分を表現することができるようにする。



5 本日の展開

<p>幼児の活動</p>	<p>◎環境構成 ・教師の援助 ★人権教育の視点から特に重要なこと</p>
<p>○登園する。 ・持ち物の始末をする。 ・シールを貼る。</p> <p>○自ら選んだ遊びをする。</p>  <p>○片付けをする。</p> <p>○なかよしタイムをする。 「和っしょい津山」</p> <p>○降園準備をする。</p> <p>○歌を歌ったり、絵本を見たりする。「山の音楽家」、 『どんぐりとんぼろりん』</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>◎早く遊びたくて持ち物の始末を始めにくい幼児には、机や持ち物を入れるカゴ、掛ける物等を近くに寄せ、スムーズに始末ができるような配置にする。</p> <p>◎幼児の目に付きやすい場所に玩具や用具を置いたり、なりきる物を置いたりして、幼児がやってみたいと感じられるようにする。</p> <p>★幼児が自分でやってみようとする姿を見守りながら、やりたいことを実現できるように、手伝ったり、一緒に考えたりする。</p> <p>★幼児が自分の思いを言葉や態度で伝えたいようになるように、一緒に遊びを楽しみ、遊びの中での嬉しい気持ちや「なぜ?」という気持ちに共感する。</p> <p>・気持ちを切り替えにくい幼児には、視覚的に終わりが分かるように示したり、次の活動を知らせたりすることで、幼児が見通しをもって次の活動に切り替えられるようにする。</p> <p>・異年齢の友達との関わりに緊張しやすい幼児には、教師も仲間になりながら一緒に触れ合い遊びを楽しむことで安心して少しずつ関わるようにする。</p> <p>・まだ遊びたい幼児には、その気持ちを受け止め、“○○が終わったら終わり”と幼児と一緒に終わりを決めたり、ごっこ遊びのイメージを大切にしながら楽しい気持ちで終わることができるように声掛けに配慮をしたりして、幼児が納得して降園準備を始められるようにする。</p> <p>★今日の遊びの様子について実物を見せたり、実際の場所を知らせたり、関わっていた幼児に頑張りを聞いたりすることで、“自分もしてみたい”“明日もしたい”という気持ちになるようにする。</p>

【4歳児(年中)】



1 教師の願い

- 教師や友達と戸外で体を十分に動かして遊び、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じてほしい。
- ケーキやアクセサリーの場で木の実等自然物の特徴を捉え、色や形を活かしながら工夫して使ったり作ったりしてほしい。
- 自分なりの言葉で思いを伝えたり、友達の話聞いて相手の思いに気付いたりして遊んでほしい。

2 ねらいと内容 (○ねらい・内容)

- いろいろな遊びに興味や関心を持ち、自分の思いや考えを出しながら、自分のしたい遊びを十分楽しむ。
- ・先生や友達と一緒に繰り返し体を動かして遊ぶ。
- ・友達や年長児の刺激を受けて、自分からやってみようと試したり工夫したりする。
- ・自分の思いを言葉で伝えたり、友達の話聞いてしたりする。

3 評価の観点

自分のしたいことが十分でき、思いや考えを出しながら友達と一緒に遊ぶことを楽しむことができていたか。

4 本日の保育と人権教育

自分の思いを伝えようとしていたり、友達の話聞いてこうとしていたりする姿を認め、友達に思いを伝える嬉しさを感じたり、友達の思いに気付いたりすることができるようにする。



5 本日の展開

<p>幼児の活動</p>	<p>◎環境構成 ・教師の援助 ★人権教育の視点から特に重要なこと</p>
<p>○登園する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物の始末をする。</li> <li>・シールを貼る。</li> </ul> <p>○自ら選んだ遊びをする。</p>  <p>○片付けをする。</p> <p>○なかよしタイムをする。 「和っしょい津山」</p> <p>○降園準備をする。</p> <p>○歌を歌ったり絵本を見たりする。「やきいもグーチーパー」、『おかえし』</p> <p>○振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親から離れにくい幼児には、今日の遊びを楽しみにできるような話をしたり、気持ちが切り替わるように声を掛けたりして、必要に応じて教師間で連携しながら保育室に行けるようにする。</li> <li>・遊びに気持ちが移りやすく、持ち物の始末に時間のかかりやすい幼児には、表示や始末する物を見せて見通しをもたせたり、必要に応じて手伝ったりする。一つずつ持ち物の始末が終わったことを認め、定着につながるようにする。</li> </ul> <p>★年長児や友達が遊んでいる様子を周りに知らせたり、教師も一緒に遊んだりすることで、年長児や友達のしていることに関心を持ち“自分もやってみたい”という気持ちをもてるようにする。</p> <p>★遊びの中で遊具の取り合いになったり、互いの思いが違ったりしてトラブルになった時は、それぞれの思いを丁寧に聞いて受け止め、幼児が互いの思いに気付くことができるように、必要に応じて気持ちを代弁したり、一緒に考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師も一緒に片付けをしながら、仕方を知らせたり、進んでしようとする姿を認めたりして、自分たちで意欲的に片付けられるようにする。</li> </ul> <p>◎参加しにくい幼児には、手拍子やうちわで盛り上げる等参加できるように促したり、友達や教師の様子が見える場所に椅子を用意したりして、一緒に楽しむことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・降園準備に気持ちが向きにくい幼児には、この後の歌や絵本を楽しむにできるよう声を掛け、必要に応じて教師と一緒に手伝いながら、降園準備ができるようにする。</li> <li>・じゃんけん遊びをして楽しい雰囲気をつくりながら、全員が揃うのを待ち、落ち着いて絵本が見られるようにする。</li> </ul> <p>★今日のことを振り返りながら、友達の話を聞こうとしたり、自分の思ったことを自分なりの言葉で伝えようとする姿を認め、明日も楽しみに登園できるようにする。</p>

【5歳児(年長)】



1 教師の願い

- 自分の思いを素直に伝えたり、友達の思いや考えを聞いたり受け入れたりしながら、自分たちで遊びを進める楽しさを味わってほしい。
- 同じ目的をもって、友達と思いや考えを出し合いながら遊ぶことを楽しんでほしい。

2 ねらいと内容(○ねらい・内容)

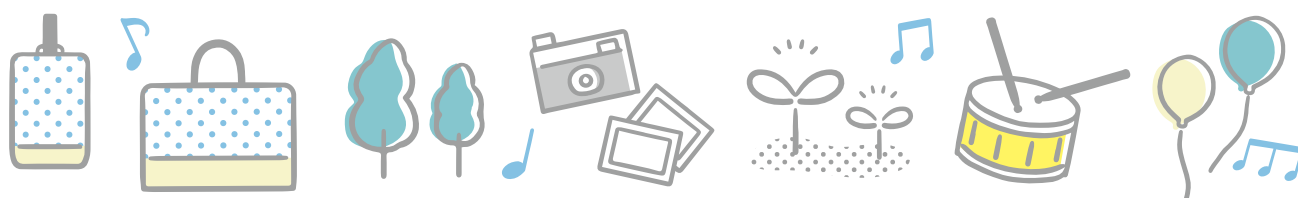
- 友達と目的をもって遊ぶ中で、思いや考えを伝え合いながら遊ぶことを楽しむ。
  - ・役割を分担したり遊び方を決めたりしながら、友達と一緒に遊びを進める。
  - ・友達の思いや考えを受け止めたり、違いに気付いて話し合ったりする。

3 評価の観点

互いの思いを伝え合いながら、友達と一緒に遊びを進めることを楽しんでいたか。


4 本日の保育と人権教育

幼児同士で話し合って遊びを進めている場面を見守りながら、必要に応じて仲立ちとなり、思いや考えの違いを知ったり、互いのよさに気付いたりできるようにしたりする。





5 本日の展開

<p>幼児の活動</p>	<p>◎環境構成 ・教師の援助 ★人権教育の視点から特に重要なこと</p>
<p>○登園する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物の始末をする。</li> <li>・シールを貼る。</li> <li>・水やりやウサギの世話をする。</li> </ul> <p>○自ら選んだ遊びをする。</p>  <p>○片付けをする。</p> <p>○なかよしタイムをする。 「和っしょい津山」</p> <p>○降園準備をする。</p> <p>○歌を歌ったり絵本を見たりする。 「おひさまになりたい」、「パンのかけらとちいさなあくま」</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>◎今日の片付けの時間や生活の流れを表示しておき、一日の生活の見通しをもてるようにしたり、自分達の生活を意欲的に進めることができるようにしたりする。</p> <p>★友達同士でやりとりをしながら遊びを進めていこうとしている姿を見守り、必要に応じて教師も一緒に考えたり、互いの思いや考えに気付くことができるように声を掛けたりする。</p> <p>★自分の思いと相手の思いが違い、自分の思うようにならずに葛藤している時には、自分の感情に向き合っている時間を大切に、温かく見守る。そして、自分の中で気持ちを切り替えたり折り合いをつけることができたりした時にしっかり認め、励ましていくようにする。</p> <p>★幼児が友達との関わりを楽しんでいる時には温かく見守る。思い通りにいかず気持ちがいらだった時には、幼児の気持ちを受け止めながら、自分の思いと友達の思いは違うことを知らせていく。</p> <p>・年長児として自信をもってリズムにのせて体を動かす姿を認め、みんなが気持ちよく体を動かす楽しさを味わえるようにする。</p> <p>★今日の遊びの中で友達に伝えたいことや知らせたいことなどを言葉に出しやすいように声を掛け、幼児の頑張りを認めたり、友達と思いを出し合いながら遊んでいた場面を知らせたりする。そして、それぞれの遊びの様子を共有したり、友達のアイディアの面白さや考え方の違いに気付くことができるようにしたりする。</p>

# 自分のいいところ

勝央町立勝央北小学校 第2学年



1 教科等 特別の教科 道徳

2 主題名 自分のいいところ [A 個性の伸長]

3 ねらいと教材

(1) ねらい 自分や友だちのよいところについて考える中で、よいところが見つかることで、もうれしい気持ちになることに気づき、自分のよいところを見つけていこうとする態度を養う。

(2) 教材名 「いいところ みつけた」(出典:日本文教出版「生きる力2」)

4 主題設定の理由

(1) 指導内容について

自分のよいところを見つけることは、児童が自己肯定感を高め、将来にわたって自分のよさを発揮していくために大切なことである。しかし、この時期の児童は自分を客観視しにくい、自分のよいところを自分で見つけるのは難しく、周りの人から指摘されてはじめて気づくことが多い。

本時では、やさしさや粘り強さのような内面的な自分のよいところについて自分を見つめながらワークシートに書くことで、児童が自分自身のよいところ気づくことができるようにしたい。また、教師がさまざまな場面で見つけた児童のよいところを伝え、それを認め、励ますことにより、児童が自ら新たな長所を見つけようとする態度の育成につなげたいと考える。

(2) 教材について

本教材は、自分はおとなしくてあまり人に褒められないと思っていた主人公のりえが、教師の指摘から小さい子の面倒をよくみる優しさが自分のよさであることに気づき、とてもうれしくなるという話である。

教材の中では、小さい子の面倒を見ていたために遅くなったことを、友だちにわかってもらえず、つらい思いをするという場面も描かれていて、この場面では、つらかったりえの気持ちに共感させる。その後、教師の言葉を聞いたりえが、どんな気持ちになったかを考えさせることにより、りえの気持ちを自分事としてとらえさせる。この場面では、友だちに伝えあう活動を取り入れ友だちに話すことで、内面的なよさにも気づくことができるようにしたい。行動面に偏りがちな視点を、内面的なよさにも広げることにより、自分のよさに気づかせたり、自分のよいところについてしっかりと考えさせたりしていきたい。これらの学習活動を通して、自分のよいところに着目させ、自己についての肯定的態度を育てたい。

5 本時(本実践)と人権教育

自己についての肯定的態度を育てる。<価値的・態度的側面>



6 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと …… ★

学習活動	主な発問(○)と予想される反応(・)	指導上の留意点
<p>&lt;導入&gt; 1 友だちのよいところを紹介し合う。</p>	<p>○学級の友だちのいいところは、どんなところかな。 ・○○さんは、走るのが速い。 ・○○さんは絵が上手。</p>	<p>・学級の友だちのよいところを紹介することにより、自分のよいところについて考えるという方向づけをする。</p>
<p>じぶんのいいところは、どんなところでしょうか。</p>		
<p>&lt;展開&gt; 2 教材「いいところみつけた」を読んで話し合う。</p> <p>・ワークシートに記入 ・ペアで交流 ・全体で交流</p> <p>3 自分のよいところについて考える。</p> <p>・ワークシートに記入 ・全体で交流</p> <p>&lt;終末&gt; 4 教師の話聞く。</p>	<p>○1年生の荷物を持ってあげているりえさんは、どんな気持ちでしょう。 ・お世話は楽しい。 ・してあげてよかった。</p> <p>○不機嫌なしょうたくんをりえさんはどう思ったでしょう。 ・遅くなってごめんなさい。 ・いいことをしたのに、なんで。 ・自分は悪いことをしたのかな。</p> <p>◎先生の言葉を聞いて、りえさんはどんな気持ちになったでしょう。ワークシートに書きましょう。 ・先生はわかっていてくれたんだ。 ・自分のいいところは、小さい子の面倒をよくみるというところなんだ。 ・これからも、小さい子に優しくしよう。</p> <p>○あなたの「いいところ」は、どんなところですか。ワークシートに書きましょう。 ・困っている友だちがいたら、助けてあげるところ。 ・友だちに優しくできるところ。 ・時間を守って生活しているところ。 ・親切にできるところ。 ・鍵盤ハーモニカの練習をがんばっているところ。</p> <p>○学校の生活の中で、先生が見つけたいいところを紹介します。</p>	<p>・りえの顔絵を貼る。 ・思いやりをもって接しているりえに共感することで、りえの満足している気持ちに気づかせる。 ・しょうたにわかってもらえない悲しさや自分に自信をなくしていることに共感できるようにする。</p> <p>・先生の言葉を聞く場面絵を黒板に貼る。 ★りえの気持ちを考える中で、自分のよさに気付くことができるようにし、自己肯定的な気持ちをもつことができるようにする。</p> <p>・事前に学級活動で「いいところさがし」を行い、友だちにいいところをカードに書いてもらっておき、ここでは、そのカードを活用する。 ★自分のよいところについて考える時間を十分に確保したり、いいところカードを参考にさせたりすることで、自己肯定的な気持ちをもつことができるようにする。 ・発表者の方を見てうなずいたり、拍手をしたりして、学級全員で認められている雰囲気醸成する。 ・児童自身が自分のよいところをさらに見つけようとする態度につながるように、配慮する。</p>

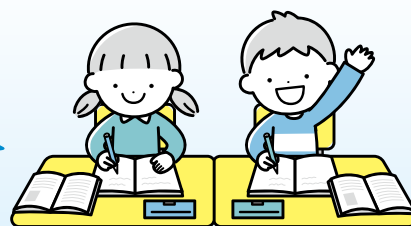
<評価の視点>

- ・登場人物の心情について考えるを通して、自分や友だちのよいところを見つけようとしている。(発表)
- ・よいところが見つかることとてうれしい気持ちになることに気づくとともに、内面的なよさを含めた自分のよいところを考え、見つけている。(ワークシートへの記述)



# わたしたちの学級や学校

勝央町立勝央北小学校 第4学年



## 1 教科等 特別の教科 道徳

## 2 主題名 わたしたちの学級や学校 [C よりよい学校生活、集団生活の充実]

## 3 ねらいと教材

(1)ねらい 一人一人が相手を大切にしようとすることによって、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくらうとする意欲や態度を育てる。

(2)教材名 「いじりといじめ」(出典:日本文教出版「生きる力4」)

## 4 主題設定の理由

### (1)指導内容について

本主題は「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。」という内容項目を受けたものである。相手の気持ちを考えず何気なくやってしまういじりは、一人一人が安心して生活していくことの妨げになる。特に、いじめは絶対に許されるものではない。

また、人は社会的な存在であり、家族や学校などの様々な集団や社会に属して生活を営んでいる。それらにおける集団と個の関係は、集団の中で一人一人が尊重されながら、主体的な参加と協力の下に集団全体が成り立ち、その質的な向上が図られるものでなければならない。

本時では、相手に対する親しみとして捉えられがちな「いじり」が相手を傷つけてしまう行為であるという認識を深めながら、相手の辛い気持ちを考え、互いに思いやり、みんなで協力し合える楽しい学級を目指そうとする心情を育てたい。

### (2)教材について

本教材は、「いじり」に対して何とも思っていなかった主人公ゆうきが、「いじりといじめの違い」について考え始めることを扱った教材である。“自分や周りの人がおもしろかったら失敗をいじって笑ってよいのか”“相手が気にしている様子がなかったらいじって笑ってよいのか”“悪気のない冗談だったらいじって笑ってよいのか”という「いじり」についての視点に着目しながら、「いじって笑うことのほかに、もっとみんながいい気持ちになれる方法があるのではないか」という思考の流れをつかっていきたい。また、いじりを行っている側の個人を責めるのではなく、笑うことの質に着目しながら、仲間の大切さに気付かせていきたい。

## 5 本時(本実践)と人権教育

自他の価値を尊重しようとする意欲や態度を育てる。<価値的・態度的側面>



6 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと …… ★

学習活動	主な発問(○)と予想される反応(・)	指導上の留意点
<p>&lt;導入&gt; 1 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○おもしろくて、人のことを笑ってしまうことがありますか。 ・お笑い芸人の映像を見て笑うことがある。 ・おもしろいことを言われたら笑ってしまう。</p>	<p>・笑うことについて、児童の実態をありのままに発表させる。 ・児童の気持ちに共感しながら、学習への意欲を高める。</p>
<p>よりよい学級をつくるために大切なことはどんなことだろう。</p>		
<p>&lt;展開&gt; 2 教材文を読んで登場人物の気持ちについて考え話し合う。</p> <p>(1) 道徳ノートに自分の考えを記入する。 (2) 近くの席で考えを交流する。 (3) 学級全体で交流する。</p>	<p>○「今の、笑っていいのかな。」と言ったみかさんはどんなことを考えているのでしょうか。 ・まちがいをいじって笑うのはよくない。 ・まさるくんの気持ちを考えないと。 ○げんきくんは、どう思っているのでしょうか。 ・おもしろかったからいいじゃん。 ・まさるくんは気にしていないから大丈夫。 ・みんなにうけたから、まさるくんも喜んでいるはず。 ○まさるくんはどんな気持ちだったのでしょうか。 ・本当はつらかった。 ・みんなに笑われなくなかった。 ・みんなにつられて仕方なく笑うしかなかった。 ◎自分がこのクラスにいる仲間だとしたら、どんな気持ちになりますか。 ・まさるくんを助けたい。 ・くり返してほしくないからげんきくんを注意したい。 ・いじって笑わないように気をつけたい。 ・いじって笑うのではなく、いい気持ちになれる方法を考えたい。</p>	<p>・いじりは相手を不快にさせる行為であることをおさえる。 ・げんきくんのことを責めていないことを考えさせる。 ・クラスを盛り上げようとしたが、人の失敗を笑うことについて、罪悪感をもてず、軽い受け止めしかできていないことをおさえる。 ・笑っていいことと笑ってはいけないことがあることを自分事として考えさせるようにする。 ・この集団の中で自分がどんな気持ちになるか考えさせる。 ・みかさんはげんきくんを責めていなかったことを想起させ、いじった個人を単に否定するのではなく、学級の中でなんとかしようと試みたことについて考えさせる。</p>
<p>&lt;終末&gt; 3 自己を見つめ、これからの自分について考え、道徳ノートに記入する。(数人発表)</p>	<p>○いじって笑うのではなく、仲間や学級のことを考えるには、どんな気持ちが必要でしょうか。 ・前向きになれるようにはげまそうとする気持ち。 ・おたがいに助け合おうとする気持ち。</p>	<p>・本時で学習した「よりよい学校生活、集団生活の充実」について振り返ることで、今後の実践意欲に繋ぐことができるようにする。</p>

<評価の視点>

- ・登場人物の気持ちについて考えることを通し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくらうとしている。(道徳ノート)
- ・児童が道徳的価値の理解を自分自身と対比しながら考え、意欲的に学習に参加している。(発言・観察)



# 広く受け入れる心

勝央町立勝央北小学校 第6学年



1 教科等 特別の教科 道徳

2 主題名 広く受け入れる心 [B 相互理解、寛容]

3 ねらいと教材

(1) ねらい サムを憎む気持ちが消え、穏やかにサムを見つめるピエロの気持ちを考えることで、自分と異なる考えや意見や立場を尊重し、大切にしていこうとする態度を養う。

(2) 教材名 「ブランコ乗りとピエロ」(出典:日本文教出版「生きる力 6」)

4 主題設定の理由

(1) 指導内容について

本主題は、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」という内容項目を受けたものである。自分の考えや思いを相手に伝えるとともに、自分と異なる考えや思いを受け止め、相手への理解を深めることは決して容易ではない。意見や立場を尊重することができるのは、相手のよいところを見つけ、敬意を払うことができるからである。指導にあたっては、謙虚な心、広い心で受け止め、適切に対処できる態度を育成することが大切である。

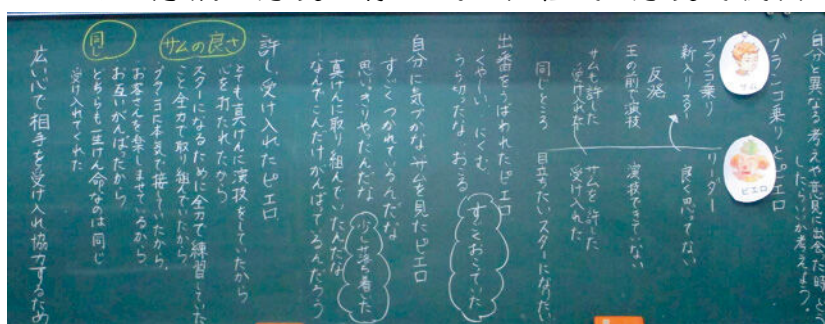
そこで、自分と異なる意見や考え方をもち相手を受け入れるときの心のもち方を考えさせることによって、相手の立場に立って、広い心で受け入れ、認めようとする心情を育てたい。

(2) 教材について

本教材は、ブランコ乗りのサムとピエロの話である。半年前にサーカス団に入団したサムの傍若無人な態度にサーカス団のリーダーであるピエロが腹を立てていた。しかし、サムは身勝手な言動をやめることなく、二人は対立していた。大王アキレスの前での出番を奪われたピエロはとても腹を立てていたが、そのピエロに気づかないほどにぐったりしているサムを見て、相手のことを理解し、憎む気持ちが消えた。そして、互いに広い心で受け入れていく。力の限り演技、疲れ果てたサムの姿を思い返すうちに憎む気持ちが消え、自己を反省しサムを受け入れた場面を中心場面とし、責めるのではなく受け入れることができたピエロの心情について話し合わせる。そうすることで、自分と違う意見や立場を広い心で尊重する態度が、良い人間関係を築くことに繋がっていくことに気付かせたい。

5 本時(本実践)と人権教育

自分や他の人のよさを認め合おうとする意欲や態度を育てる。<価値的・態度的側面>



6 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと …… ★

学習活動	主な発問(○)と予想される反応(・)	指導上の留意点
<p>&lt;導入&gt;</p> <p>1 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○どうすれば、相手を許すことができるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・謝られたら。</li> <li>・悪いことをもうしなくなったら。</li> <li>・許すとかじゃなく、諦める。</li> <li>・そもそも、そこまで怒らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会のパフォーマンスなど、日々の生活の中にある意見がぶつかる場面を思い出させて、本時のめあてにつなげる。</li> </ul>
<p>自分と異なる意見や考えに出会った時に大切なことはなんだろう。</p>		
<p>&lt;展開&gt;</p> <p>2 教材文「ブランコ乗りとピエロ」を読んで、ピエロの気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートに記入する</li> <li>・グループで交流する</li> <li>・全体で話し合う</li> </ul>	<p>○大王アキレスの前での出番を奪われたピエロはサムにどんな思いをもっていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんなに時間を守れと言ったのに。</li> <li>・みんなで協力することが大事なのに。</li> <li>・私の時間を奪って、憎らしい。</li> </ul> <p>○演技後自分に気づかないサムを見てピエロはどんな思いを持ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一言言ってやりたかったけど…</li> <li>・サムも本気だったんだ。</li> <li>・サムは素晴らしいな。</li> </ul> <p>◎なぜピエロの憎む気持ちが消えたのだろう。サムに謝ったピエロの気持ちの中にどんな思いが浮かんだからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サムも、サーカス団のために力の限り演技をしていたんだ。</li> <li>・観客を喜ばせるくらい力があるんだ。</li> <li>・サムのことを勘違いしていた。</li> <li>・これから、サーカス団と一緒に盛り上げていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物や状況を整理して板書することで、「ピエロ」の視点で考えることができるようにする。</li> <li>・出番を奪われたピエロがサムを憎む気持ちをおさえておく。</li> <li>・ステージ終わりの真っ青で疲れ果てていたサムの真剣な姿に心を打たれたピエロの気持ちをおさえておく。</li> </ul> <p>★自分と異なる考えや意見の人と対立したときのことを思い出させ、そのときにどんな気持ちになったか想像させ、自分事として考えさせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の出番を奪われたピエロが、サムを責めるのではなく、サムの素晴らしい一面に気づき、受け入れた心情の変化を捉えさせる。</li> </ul>
<p>&lt;終末&gt;</p> <p>3 本時について振り返り、思ったことや考えたことを書く。</p> <p>4 説話を聞く。</p>	<p>○広い心で相手を受け入れ、協力している2人から考えたこと、これまでの自分やこれからの自分について考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と違う意見だったとしても、同じところ、よいところを見つけていきたい。</li> <li>・相手が思っていることを受け入れていきたい。</li> <li>・自分の思いをしっかりと伝えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で学習した「寛容」の価値について振り返ることで、今後の実践意欲に繋ぐことができるようにする。</li> </ul>



<評価の視点>

- ・サムとピエロの関わりについて、自分と異なる意見を受け止めること、相手を受け入れる謙虚さなどを大切にしていこうとしているか。(道徳ノート)
- ・サムを受け入れることの難しさを感じ、多面的・多角的に捉え自分事として考えたり話し合ったりすることができたか。(発表・道徳ノート)

## < 勝央町立勝央北小学校 他学年の実践例 >

### 小学校1年 特別の教科 道徳

- 1 主題名 みんなと なかよく  
[B 友情、信頼]

- 2 ねらいと教材

(1)ねらい 登場人物の気持ちを考えるを通し、友達のことを思って大切にすることのよさに気づき、友達と仲よくしようとする心情を育てる。

(2)教材名 「二わの ことり」(出典:日本文教出版「いきるちから1」)

- 3 本実践と人権教育

人の痛みや気持ちを想像したり、感じたりすることができるようにする。<技能的側面>



### 小学校3年 特別の教科 道徳

- 1 主題名 やっぱり、やめよう  
[A 善悪の判断、自律、自由と責任]

- 2 ねらいと教材

(1)ねらい 迷いながらも「やっぱりやめよう」と宣言した「ぼく」の気持ちを考えることから、正しいと判断したことを自信をもって行おうとする態度を養う。

(2)教材名 「たからさがし」(出典:日本文教出版「生きる力3」)

- 3 本実践と人権教育

正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度を育てる。

<価値的・態度的側面>



### 小学校5年 特別の教科 道徳

- 1 主題名 広い心  
[B 相互理解、寛容]

- 2 ねらいと教材

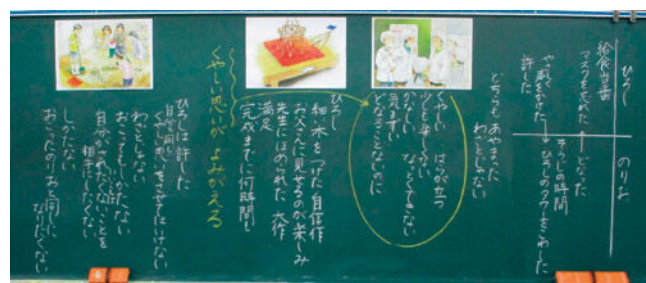
(1)ねらい 誰にでも失敗があることを理解したうえで、相手の立場に立って、広い心で許そうとする心情を育てる。

(2)教材名 「折れたタワー」(出典:日本文教出版「生きる力5」)

- 3 本実践と人権教育

他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性を育てる。

<技能的側面>





人権課題

性的マイノリティ

# 男女のらしさ

井原市立木之子中学校 第1学年



- 1 教科等 学級活動  
内容 (2) イ 男女相互の理解と協力

## 2 題材設定の理由

「男女のらしさ」について、性の多様性への理解が進みつつある中で、性別を問わず男女とも対等で平等な社会を作っていくことがめざされ、男が外（仕事）、女が中（家事、育児）といった固定的な役割に関する意識も次第に変化している。そのような中で、固定的な役割分担意識に疑問を持ち、性別にとらわれずに自分らしく生きていきたいと思う生徒もいると思われる。

そこで、本題材を通じて生徒が、男女相互の身体面、精神面の違いを認めるとともに、共に協力し、尊重し合うことで充実した生活を送ることができることを理解させたい。そして、「自分らしく」生きることの大切さを知り、よりよく生きていこうとするために、それぞれが、多様な個性を持った存在であることを認め、自他を尊重しようとする意欲や態度を養いたい。

## 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
互いの違いを認め、多様な他者と人間関係を築く大切さなどについて理解している。	自分と違う考えでも、それを尊重し、認め、話し合いで問題の解決方法を見いだしている。	学校生活や相互の関係をより良いものにするために、多様な他者と協力し尊重し合う環境をつくり、共に成長しようとしている。

## 4 事前の指導

	学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
9月	道徳 「部活の帰り」 (友情、信頼)	互いの考えの違いを認め合うことで、互いに相手の人格を尊重しながら接することができるようにする。	相手の心や思いを受けとめ、互いの存在を尊重し合う関係を築く方法を考えている。 【思考・判断・表現】 (発言・ワークシート)
11月	道徳 「私らしさって？」 (自主、自律、自由と責任)	周囲の考えに惑わされずに、自主性を大切にすることで、自分で決定し考え行動できるようにする。	成長していくために、自主的に考え、判断し、行動しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (発言・ワークシート)

## 5 本時（本実践）と人権教育

「男女のらしさ」について考え、自他を尊重しようとする意欲や態度を育てる。

<価値的・態度的側面>

自他の価値観やその多様性を認め、共感的に受容することができる。

<技能的側面>

6 本時の目標

「男女のらしさ」について考えたり、互いの考えを交流したりすることを通し、自他を尊重することの大切さを理解することができる。

7 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと …… ★

学習活動	教師の指導・支援	評価規準 及び評価方法
<p>〈導入〉 1 普段の自分について振り返り、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○トイレの男女を区別する標識を示し、男女の違いが色で区別されている理由を考えさせる。</p> <p>○自分自身の経験を振り返らせる（「男だから泣くな」「女だから料理」）ことで、より自分事として考えさせ、本時のめあてをつかむことができるようにする。</p>	
<p>「●●らしさ」について考えよう。</p>		
<p>〈展開〉 2 「男女のらしさ」について考え、班で話し合う。</p> <p>3 用紙に班の意見をまとめ、全体で発表する。</p> <p>4 「男女のらしさ」について考え、全体で発表する。</p>	<p>○ワークシートの語句から、自分が思う「男女のらしさ」について選ぶことで、それをもとに班での話し合いができるようにする。</p> <p>○班のメンバーと考えが違ふときは、互いを否定せずその理由を話し合わせることで、自他の価値観を認め合える雰囲気を作るようにする。</p> <p>○班で選んだ語句を用紙に記入し、黒板に貼ることで班の意見が全体に共有できるようにする。</p> <p>○黒板に貼る際は、男女別に分けて掲示することで、視覚的に分かりやすいようにする。</p> <p>○掲示された「男らしさ」「女らしさ」の表示を入れ替えることで、生徒たちが持つ「らしさ」は自分自身で固定化したものであることに気づくことができるようにする。</p> <p>★入れ替えた「らしさ」をもとに班で話し合い、他者の意見を聴き、自分の考えと比較することで、様々な考え方があることに気付くことができるようにする。</p> <p>○それぞれの班で話し合った入れ替えたときの意見を全体で発表させる際、なぜそう思ったのか理由を考えさせることで、自分らしさについての考えを深めることができるようにする。</p> <p>★日常の「男女のらしさ」について考えることに</p>	<p>・積極的に話し合いに参加しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 （発言）</p> <p>・多様性を認めて、それを尊重することができる。 【思考・判断・表現】 （発言・ワークシート）</p>

	よって、男女による固定化された価値観にとらわれず、自分らしく生きることの価値に気付くことができるようにする。	
	性別で区別するのではなく、「自分らしく」生きていくために、お互いを思いやって行動することが大切である。	
<p>〈終末〉 5 本時の学習を振り返る。</p> <p>6 教師の説話を聞く。</p>	<p>○「自分らしさ」を考えることを通じて、生徒が学んだこと、感じたこと、今後できそうな（取り組みたい）ことなどを Classroom の Forms に入力させる。</p> <p>○テキストマイニングで、学級全体の意見を示すことで、多様性を尊重する雰囲気醸成する。</p> <p>○生徒の意見をまとめ、自分らしく生きることに関与することができるよう助言する。</p>	<p>・自分らしく生きていくために今後実現できそうな取組をワークシートに記入することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 (記述)</p>

### 学級活動 《 「らしさ」について考えよう! 》 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

【語句】

誠実だ コーモアがある 優しい 公平だ 勇敢だ 髪が長い  
 きれい好き 暖かい 静かだ 思いやりがある 真面目だ  
 明るい 積極的だ パワフルだ 謙虚だ 活発だ 社交的だ  
 注意深い 正直だ 愛想が良い 頼りになる 強い 美しい  
 自己主張ができる 子供が好き 成績が良い 決断力がある  
 意思が強い スポーツが上手だ 料理が上手だ 文字がキレイだ  
 夢を持っている 笑顔が良い 掃除ができる 縫い物ができる  
 ピアノが弾ける 東西南北の方向がすぐわかる 運転が得意 目が二重  
 まつげが長い 親切だ 顔が良い

1 あなたが選ぶ「女らしさ・男らしさ」ベスト3を上【語句】から選んで書こう

個人	「女らしさ」	「男らしさ」
1		
2		
3		

2 班で話し合っってベスト3を決定しよう

班	「女らしさ」	「男らしさ」
1		
2		
3		

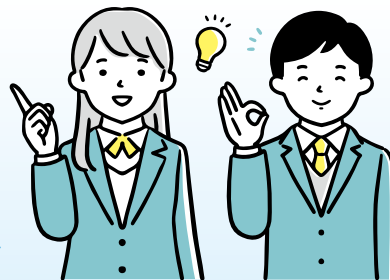
3 考えよう! ※自分が考えた理由も書こう

[ ]



# 上手な伝え方

井原市立木之子中学校 第2学年



## 1 教科等 学級活動

内容(2)ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

## 2 題材設定の理由

よりよい学校生活を送るためには、互いに配慮をしながら自分の考えを適切に伝えることができるよう、場に応じたコミュニケーションスキルを身に付けることが肝要である。

そこで本題材を通じて、身近な場面を設定し、自分と相手を大切にする伝え方である「アサーティブな自己表現」についてロールプレイングを行うことで、互いが主張する中でも思いやりの心を大切にしたコミュニケーションのよさに気付かせたい。そして、「アサーティブな自己表現」で話すと安心して話ができるという気持ちを全員で共有することで、自他のよさを尊重したよりよい集団として活動できる意欲と態度を育てたい。

## 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の考えを相手に伝えることができるなど、コミュニケーションの特性や課題について理解している。	自分と違う考えでも、それを尊重し、認め、問題などの解決方法を話し合い、実践している。	学校生活や人間関係をよりよいものにするために意思の伝え方を考え、他者と協議して良好な人間関係を築こうとしている。

## 4 事前の指導

	学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
4月	「すごろくトークン」	否定的な言葉を使わないというルールを確認し、互いの意見を肯定的に受け止めることで、進んで自己表現ができるようにする。	進んで自分のことを表現し、仲間のことを知ろうと実践している。 【思考・判断・表現】(発言)
5月	「You are great!」	互いの「よいところ」について肯定的なメッセージを受け取り合うことで、他者だけでなく自分のよさも知ることができるようにする。	他者のよさを表現するとともに自分のよさを知ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(発言・ワークシート)

## 5 本時(本実践)と人権教育

適切なコミュニケーションについて考え、自他のよさを尊重しようとする意欲や態度を育てる。  
<価値的・態度的側面>

よりよい集団として活動できるための適切なコミュニケーションを実践することができる。  
<技能的側面>

6 本時の目標

自分や相手の意見の適切な伝え方を考えることを通し、互いを思いやった態度やコミュニケーション力を身につけることができる。

7 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと …… ★

学習活動	教師の指導・支援	評価規準 及び評価方法
<p>〈導入〉</p> <p>1 普段の自分について振り返り、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○違う小学校出身の友達との会話や、席替え後のコミュニケーションなど、身近な生活について振り返ることで、学級の中で自分の意見を言うことができているか考えることができるようにする。</p> <p>○事前アンケートの結果を確認することで、自分たちのコミュニケーションの取り方に課題があることに気付かせ、本時のめあてをつかむことができるようにする。</p>	
<p>自分の意見を上手に伝える方法を考えよう。</p>		
<p>〈展開〉</p> <p>2 場面①「自分の消しゴムを勝手に使われたこと」に対し、自分の意見の伝え方を考える。</p>	<p>○スライドで場面①の状況を提示し、実際にロールプレイをさせることで、自分の意見の伝え方を考えることができるようにする。</p> <p>○ロールプレイ後、3種類の伝え方を示し、自分がどれに近いかを確認することができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A. <u>とげとげ（攻撃的）</u> 「やめろや！」</p> <p>B. <u>もじもじ（非主張的）</u> 「・・・」 「いいよ（本当は嫌だけど）」</p> <p>C. <u>ふんわり（主張的）</u> 「使ってもいいけど、次からは一言声を掛けてから使ってね」</p> </div>	
<p>3 場面②「文化祭の準備中、途中で帰らなければならない状況」について、3種類の伝え方の違いについて考える。 (個人→班)</p>	<p>○スライドで場面②の状況を提示し、A、B、Cそれぞれの立場での伝え方をワークシートに記入させることで、それぞれの伝え方の違いについて考えることができるようにする。</p> <p>○班で話し合っ、3種類の伝え方をそれぞれ意見共有シート（色画用紙）にまとめ、発表練習をさせることで、自信をもって全体発表ができるようにする。</p> <p>○各班で3人の代表者を決め、A、B、Cそれぞれ</p>	<p>・積極的に話合いに参加しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (発言)</p> <p>・積極的に自分の</p>

<p>4 3種類の伝え方について発表する。</p> <p>〈終末〉 5本時の学習を振り返る。</p>	<p>れについて発表させる。</p> <p>★黒板に掲示した意見共有シートをもとに、3種類の伝え方について互いに発表し合い、どの伝え方が、自分だけでなく相手も大切にすることが適切なコミュニケーションかを考えさせることで、自分の意見を上手に伝える方法を考えることができるようにする。</p> <p>○他の班の発表を聞いて、よいと思った伝え方とその理由をワークシートにまとめることで、互いを思いやったふんわりとした（主張的な）伝え方がよりよい伝え方であることに気付かせるようにする。</p>	<p>役割を果たそうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 （発言・行動の観察）</p> <p>・よりよい伝え方をワークシートに記入することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 （記述）</p>
<p>相手も自分も意見を主張し、お互いを思いやったコミュニケーションの取り方を心がけよう。</p>		
<p>6 教師の説話を聞く。</p>	<p>○本時の学習についての感想をまとめさせることで、今後のコミュニケーションの取り方に生かそうとする意欲を高めることができるようにする。</p> <p>○生徒の意見をまとめ、よりよい学級作りに役立つよう助言をする。</p>	

アサーティブの方法を実践しよう  
～自分の意見を上手に伝える方法を考えよう～  
2年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

〈場面①〉  
となりの席のXXくん（さん）が、黙ってあなたの消しゴムを使いました。あなたは「やめてほしいな」と思いました。あなたはXXに何が言えますか？また、何と言いますか？


1、あなたなら何と言うでしょうか。

あなたの意見は（ とげとげ ・ もしもじ ・ ふんわり ）に近い！

〈場面②〉  
文化祭に向けて、放課後5時までクラスみんなで練習することになりました。あなたは「5時から聴があるから帰りたい」と思いました。あなたはクラスの人に何が言えますか？また、何と言いますか？

2、とげとげ・もしもじ・ふんわり それぞれの立場で、意見を考えましょう。

〈とげとげ〉      〈もしもじ〉      〈ふんわり〉



3、他の班の発表を聞いて、よいと思った伝え方と、その理由を書きましょう。

（ ）型（タイプ）  
（理由）

4、授業の感想をまとめましょう。※今までの自分を振り返りながらこれからどうしていくか書こう

---

---

---

---

---

---

---

---



## 人権課題

## 北朝鮮当局による拉致問題等

# 北朝鮮当局による 拉致問題から人権問題を考える

岡山県立水島工業高等学校 第1・3学年



## 1 教科等 特別活動(ロングホームルーム)

## 2 単元名 「北朝鮮当局による拉致問題」から人権問題を考える

## 3 指導上の立場

### ○単元(題材)観

北朝鮮当局による拉致問題は、主に日本海側において不自然なかたちで行方不明になった方々が、北朝鮮当局により拉致されており、そのうち5名が2002年の日朝首脳会談を経て日本に帰国を果たしたが、なお12名が北朝鮮に残されている問題である。この拉致問題は、2002年当時はマスメディアによる報道が過熱していたものの、現在はマスメディアにおいて取り扱われる機会も以前に比べて少なくなっている。

全校生徒を対象とした事前アンケートによれば、拉致問題そのものを知らない生徒の割合は42.6%にのぼり、横田めぐみさんの写真を見て名前を正しく答えられた生徒は4名のみであった。加えて、日本に帰国された拉致被害者の蓮池薫さんは著書や教員向け講演会の中で「風化が一番怖い」と述べている。

そこで本時では、拉致被害者の1人である横田めぐみさんとそのご家族の動向をまとめたアニメ「めぐみ」の視聴を中心として拉致問題を知る機会をつくるとともに、拉致問題を人権問題として捉えることができる活動を実施する。

### ○本単元(題材)で工夫する点や手立て

本時では、政府の拉致問題対策本部が企画・制作したアニメ「めぐみ」を、横田めぐみさん本人・ご両親の気持ちを考えながら視聴させ、拉致問題がどのようなものであるか概略を捉えさせる。そのうえで、横田めぐみさんやご両親がどのような権利を侵害されたのかをイメージしやすくするため、unicef制作の「子どもの権利条約カードブック」を活用し、どの条文に該当する人権を侵害されたのかをペアワークを通じて考えさせる。

## 4 評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
拉致問題に関する知識を身に付けている。	拉致被害者やその家族の気持ちを考えることができる。 拉致問題の解決策を個人またはグループで考察し、提案することができる。	拉致問題を人権問題として受け止め、問題の解決に向けて自分にできることを考えようとしている。

## 5 本時(本実践)と人権教育


- ・北朝鮮当局による拉致問題について理解を図る。〈知識的側面〉
- ・拉致被害者等が奪われた人権について考えることを通して、拉致問題を人権問題として捉え、問題の解決に向けて関わろうとする意欲や態度を育てる。〈価値的・態度的側面〉

## 6 本時の目標

啓発アニメ「めぐみ」を視聴することによって北朝鮮当局による拉致問題や人権について理解を深めるとともに、解決策について考えることができる。

7 本時の展開

人権教育の視点から特に重要なこと …… ★

学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法
<p>〈導入〉</p> <p>1 北朝鮮当局による拉致問題に関する生徒アンケートの結果と本時の目標を知る。</p>	<p>○事前に行った「拉致問題」に関する生徒アンケートの結果を公表する。</p>	
<p>拉致問題から人権への理解を深めよう</p>		
<p>〈展開〉</p> <p>2 アニメ「めぐみ」を視聴する（25分）。</p> <p>3 北朝鮮当局による拉致問題を人権問題として理解するとともに、関心をもつ。</p>  <p>(アニメ「めぐみ」 /政府拉致問題対策本部HP より)</p>	<p>・めぐみさんの気持ち、両親の気持ちなどの視点を設けて視聴させる。</p> <p>・感じたこと、考えたことを随時ワークシートへ記録するよう伝える。</p> <p>・視聴後、2、3人の生徒を指名して、めぐみさん、両親がどのような気持ちになったのか、発表させる。</p> <p>○北朝鮮当局が日本人を拉致した背景を説明する。</p> <p>・当時の国際情勢を踏まえて説明し、ワークシートに記入させる。</p> <p>★めぐみさんが奪われた権利を考えさせる。</p> <p>・「子どもの権利条約カードブック」から、めぐみさんがどのような権利を奪われたのか選び、選んだ理由をワークシートに記入させる。</p> <p>・隣同士で選んだ権利とその理由を発表させ、その後全体で共有する。</p> <p>○拉致被害者の帰国の経緯と現在の拉致被害者について説明する。</p> <p>・2002年10月に拉致被害者のうち5名が帰国したことを説明する。</p> <p>・帰国した5名を含む17名の拉致被害者がいること、拉致の可能性が排除できない「特定失踪者」が何人もいること、岡山県でも北朝鮮当局によって拉致された可能性を排除できない人が存在していることを説明する。</p>	<p>めぐみさん本人や両親の気持ちを想像し、ワークシートに記入できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p>
<p>〈まとめ〉</p> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>★拉致問題の解決に向けて、自分にできることを考えさせる。</p> <p>・個人でワークシートに記入させた後、隣同士で考えた内容を発表させ、その後全体で共有する。</p> <p>・ワークシートにある蓮池薫さんの言葉を伝える。</p>	<p>拉致問題を人権問題として捉え、問題の解決に向けて自分にできることを考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 (ワークシート)</p>



LHR 「北朝鮮当局による拉致問題等」

1. アニメ「めぐみ」を視聴する。

めぐみさんの気持ち	両親の気持ち
-----------	--------

2. 何故、北朝鮮当局は日本人を拉致したのだろうか。

3. めぐみさんはどのような権利を奪われたのだろうか。

選んだカード	理由
第 (     ) 条	
第 (     ) 条	
第 (     ) 条	

4. 拉致被害者の方々はその後どうなっただろう。

2002年、拉致被害者のうち5名が帰国を果たす。

他にも拉致被害者はいるだろうか。

特定失踪者とは？

県内に拉致被害者・特定失踪者はいるだろうか。

写真  
(北朝鮮から帰国した拉致被害者が飛行機から降りている場面)

写真は著作権があるため省略します

5. 拉致問題に対して自分にはどのようなことができるか。

※拉致被害者、蓮池薫さんの言葉

「拉致被害者の方々は、拉致は北朝鮮当局が行ったことであり、北朝鮮の一般市民を恨んだり憎んだりしているわけではない。」

(     ) 年 クラス (     ) (     ) 番 名前 (     )

# 高齢者や障害のある人が 運転しやすい自動車を考える

岡山県立水島工業高等学校 第3学年



## 1 教科等 自動車工学

## 2 単元名 人と自動車

### 3 指導上の立場

#### ○題材(単元)観

自動車は現代の生活において必要不可欠なものである。多くの生徒にとっても身近であり、今後自ら運転し、利用するようになる。自動車は、工業における様々な技術によって完成している製品であり、技術や安全性をたゆみなく改善し、向上を図ることですべての人々に有益なものになっていくことが求められる。例えば、高齢者や身体に障害のある人等が、日々の生活を楽しみ、社会に意欲的に参加するためには、自由にかつ快適に移動する手段が必要であり、身体が不自由な方でも運転ができるように各種運転補助装置が搭載された車両などが開発されており、その役目を担っている。その自動車の学習を通じて、ものづくりに携わる者として環境問題や人権課題への理解や意識の向上に繋げていきたいと考えている。

#### ○本題材(単元)で工夫する点や手立て

自動車にとって速く走ることやデザインも設計における重要な要素である。しかし、普段自動車を利用しているユーザーでも気づきにくい安全や環境などに配慮された部分は存在している。各自動車メーカーや製造企業がどのような意図をもって製造・開発を行っているのか、諸問題への改善に向けてどのような取組を行っているかを動画によって紹介することで、ものづくりに携わる者として持つべき視点を考えさせたい。

## 4 単元の目標

○人と自動車について環境問題や人権課題を踏まえて理解する。【知識・技能】

○自動車に関連した課題を科学的根拠に基づいて考察し、改善に向けた方法を提案する。

【思考・判断・表現】

○自動車の学習を通じて環境問題や人権課題などの現状について、主体的かつ協働的に理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】

5 指導計画

主な学習活動	評価規準
<p>人と自動車</p> <p>第1時 自動車と環境</p> <p>第2時 自動車と安全</p> <p>第3時 自動車と豊かな生活(本時)</p>	<p>◇環境問題などの原因と解決策について科学的視点・機械工学的視点から理解し、知識として身に付いている。【知識・技能】</p> <p>◇自動車に関連した課題を個人またはグループで考察し、改善に向けた意見を端末を利用して提案することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>◇環境問題や人権課題などの自動車に関連した課題について積極的に理解しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p>

6 本時と人権教育

高齢者や障害のある人等が自動車を運転する際の困難さを知り、運転しやすい自動車について考察することで、課題を抱える人々を、ものづくりを通して支援しようとする意欲や態度を育成する。<価値的・態度的側面>



7 本時の目標

自動車の運転において高齢者や障害のある人等の抱える課題を考察し、改善に向けた意見を提案することができる。【思考・判断・表現】

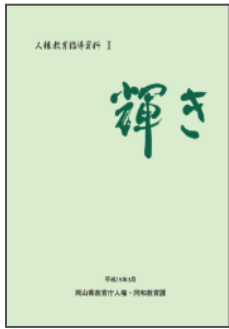


8 本時の展開

人権教育の視点から特に重要なこと …… ★

学習指導	教師の指導・支援上の配慮事項など	評価規準・評価方法
<p>〈導入〉</p> <p>1 本時の内容や目標を確認する。</p>	<p>○誰もが豊かな生活を送るために自動車はどうあるべきかを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず豊かな生活とはどのような生活かを考えさせる。</li> <li>・社会の中における自動車の役割や誰でも運転しやすい自動車はどのような自動車かを考えさせる。</li> </ul> <p>○自動車の運転が難しいのはどのような人かを問う。</p> <p>⇒高齢者、障害のある人、外国人、妊婦など</p>	
<p>高齢者や障害がある人等の困難さを考え、解決案を提案することができる。</p>		
<p>〈展開〉</p> <p>2 課題の解決案を考え、意見を共有する。</p> <p>3 メーカーの福祉車両の事例を知る。</p>	<p>★高齢者や障害のある人等が自動車を利用する際に直面する課題をグループで考え、それに対する解決案を話し合い、意見をまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障害のある人の人口に占める割合のデータを示す。</li> <li>・自動車の運転席などの写真を示しながら、高齢者や障害のある人の立場に立って考えさせる。</li> </ul> <p>○まとめた意見を発表し全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・jamboard を利用する。</li> </ul> <p>○各メーカーの福祉車両を資料動画などで紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタ自動車や本田技研工業株式会社など</li> </ul> <p>○どのような工夫があるかメモをとらせる。</p>	<p>◇自動車運転における高齢者や障害のある人等の抱える課題を考察し、改善に向けた意見を提案できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 (ワークシート・発表)</p> 
<p>〈まとめ〉</p> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>○本時での気づきや今後生かしていきたい考えをまとめさせる。</p>	

岡山県教育委員会作成の指導資料等一覧(一部)



人権教育指導資料Ⅰ  
輝き  
(冊子)  
平成15年3月



人権教育指導資料Ⅱ  
ワークショップ(上)  
(冊子)  
平成16年3月



人権教育指導資料Ⅲ  
ワークショップ(下)  
(冊子)  
平成17年3月



人権教育指導資料Ⅳ  
男女平等教育編  
(冊子)  
平成19年3月



人権教育指導資料Ⅴ  
人権学習ワークシート集(上)  
(冊子・ダウンロード可)  
平成20年2月



人権教育指導資料Ⅵ  
人権学習ワークシート集(下)  
(冊子・ダウンロード可)  
平成21年2月



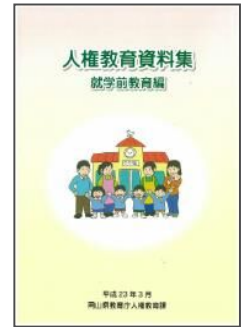
人権教育指導資料Ⅶ  
児童虐待防止編  
(冊子・ダウンロード可)  
平成24年3月



人権教育指導資料Ⅷ  
ココロ  
～はじめ・自殺等の未然防止に向けて～  
(冊子・ダウンロード可)  
平成26年3月



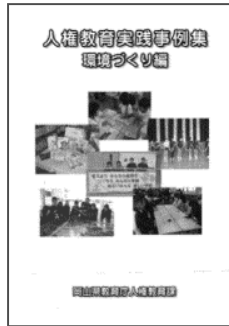
人権教育指導資料Ⅸ  
ワークショップの手引  
(冊子・ダウンロード可)  
平成30年3月



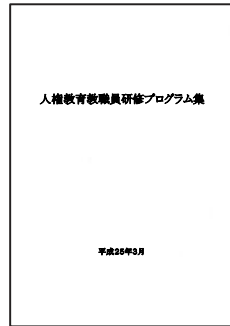
人権教育資料集  
就学前教育編  
(冊子・ダウンロード可)  
平成23年3月



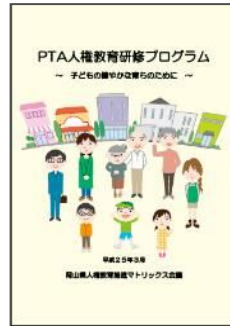
人権教育実践事例集  
幼稚園編 芽生え  
(冊子)  
平成18年3月



人権教育実践事例集  
環境づくり編  
(冊子・ダウンロード可)  
平成22年3月



人権教育教職員研修  
プログラム集  
(冊子)  
平成25年3月



PTA人権教育研修プログラム  
～子どもの健やかな育ちのために～  
(冊子)  
平成25年3月



人権教育指導の手引き  
第二版  
(冊子・ダウンロード可)  
平成30年3月



学級担任のための  
人権教育ガイドブック  
(冊子・ダウンロード可)  
平成31年3月



学級担任のための  
人権教育ガイドブック  
～Q-U, Hyper-QUを活用した課題対応～  
(冊子・ダウンロード可)  
平成31年3月



自殺予防教育  
校内研修資料  
(冊子・ダウンロード可)  
平成31年1月



学級担任のための  
人権教育ガイドブック2  
(冊子・ダウンロード可)  
令和4年3月



人権学習実践事例集  
(冊子・ダウンロード可)  
令和4年3月

多くの資料をダウンロードすることができます。  
岡山県教育庁 人権教育・生徒指導課ホームページ



令和4年度 人権学習充実拠点校事業  
人権学習実践事例集

令和5年3月 発行 岡山県教育庁人権教育・生徒指導課

〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号

TEL:086-226-7612

FAX:086-224-2134